

令和7年度特定健診歯科口腔保健指導 導入事業研修会

～多賀城市 実施状況～

実施概要

実施日	実施会場	特定健診受診者数 (40歳～74歳)	事業参加者
6月18日(水)	さんみらい多賀城 イベントプラザ(STEP)	94名	15名
6月22日(日)		76名	9名

※健診午後の部のみ実施

実施体制

口腔チェック：歯科医師 1 名／歯科医師補助 1 名

歯科保健指導：歯科衛生士 2 名

事業主旨説明及び会場誘導：2 名

口腔チェック会場

集団健診会場



▼口腔チェック会場

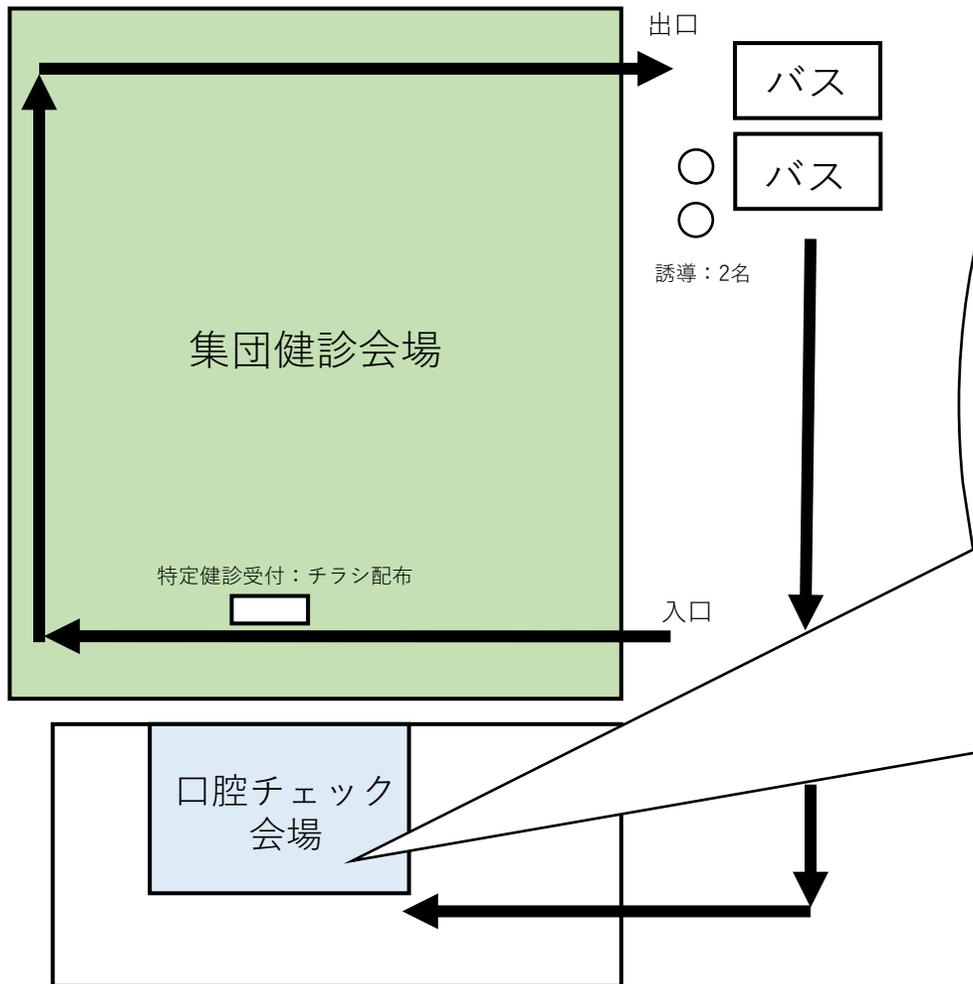


▼集団健診会場

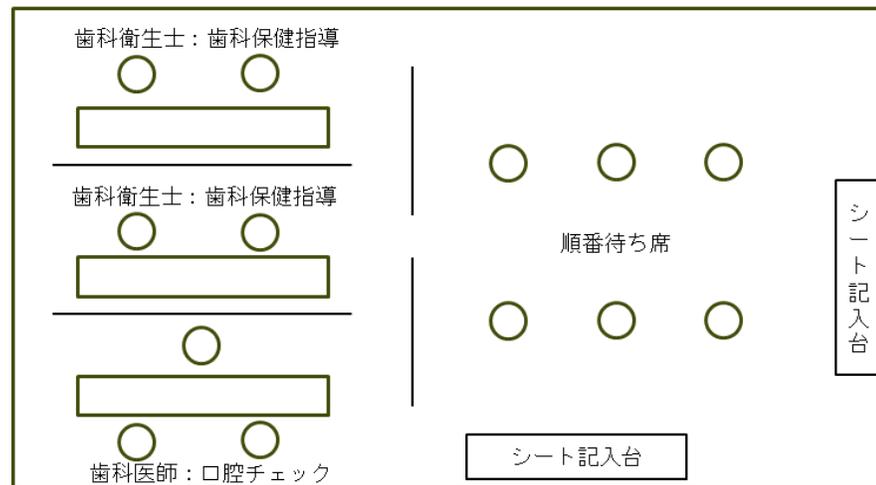


▲さんみらい多賀城 イベントプラザ (STEP)

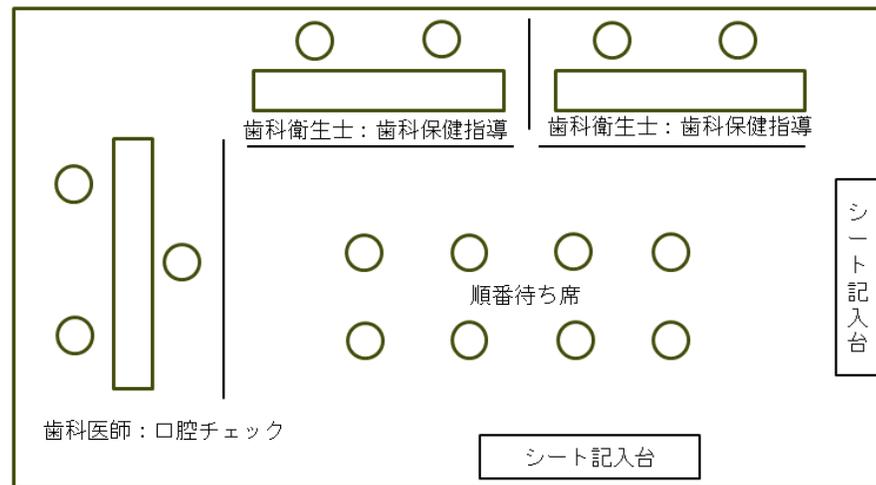
会場図



1日目



2日目



事業に参加した理由・背景

多賀城市では、令和4年度から「お口からはじめる健康づくり」をキャッチフレーズとして、小・中学校を通じた「親と子どもの歯の健康」のチラシ配布、20歳から70歳まで5歳刻みを対象に歯周病検診の無料化（令和6年度以降）、介護関連講座や教室でオーラルフレイル予防実施など、子どもから高齢者まで全ライフステージの市民を対象に、歯科医師会とも連携しながら、歯科口腔事業を展開しています。

その中で、歯科事業のさらなる拡大を検討している際に、この事業を試行実施し効果を判断するため参加しました。

期待した効果

- ・特定健診受診者を中心に、歯科口腔に対して関心を持つことにより、歯周病検診を受診に繋がること。
- ・定期的に歯科を受診し、プロケアを受けるなど、かかりつけ医を持つきっかけになること。

指導を受けた市民の声(県実施アンケートより)

- ・ 歯科医師会のとても丁寧な対応に安心して受診できました。
- ・ 歯科衛生士さんの指導が丁寧で分かりやすかったです。
- ・ 今まで使用していなかった歯間ブラシを使おうというきっかけになりました。
- ・ 歯石の付着が気になるお話をいただき、すぐにかかりつけ歯科へ行きました。

事業を実施して得た効果(県実施事後アンケートより)

- ・ 「歯間ブラシやデンタルフロスを使っていますか」という質問に対し、受診前は「いいえ」と回答した7人のうち、事後アンケートでは2名の方が「使っている」と回答。
- ・ 「歯科医師の口腔チェック/歯科保健指導を受けたことで、口腔ケアの実施状況や生活習慣に改善はありましたか」という質問に対し、6割を超える方が「はい」と回答。

課題

- ・口を開かせるという性質上、実施場所を選定する必要があるため移動が長くなり「健診のついで感」が薄くなった。
- ・2日とも、午後の実施だったため、昼食後の歯磨きをしてないからなどの理由が多く、実施に繋がらなかった。
- ・意識の低い方の理解を求めるのが難しい。
- ・可能なら「歯周病検診」として扱えるならば、実施効果は高い。

次回実施時に工夫したいこと

- ・事前周知の方法。（広報誌、LINE、X等、「健診のついで感」）
- ・当日の周知方法。（ポスター掲示、会場内でアナウンス等）
- ・会場での動線を含めた実施場所。

今後の展望

令和8年度も実施予定。

利用しやすい文化センターを会場とし実施する予定。

令和7年度モデル市として実施してみても

- ・ 受診人数は想定を下回った。
- ・ 「歯周病検診」や「歯に係るまちづくりアンケート」の受診率に繋がるのかなど効果を検証したい。
- ・ 「歯周病検診」として扱えるといいのだが、、、

▼文化センター

